あしたのために

四日市市立朝明中学校
３年生学年通信
平成 30 年 10 月 24 日（水）

その 44　　文責（浅野）

心の瞳

～あなたは何を伝えるのか～

はじめて学年合唱の練習を体育館で行いました。最高学年としての合唱コンクールへの取り組みが始まりました。これまでの先輩たちが見せてくれた素晴らしい合唱を、いよいよ君たちが披露する時がやってきました。

さて、１学期から授業で取り組んできた「心の瞳」。曲の背景はご存じの通りですね。坂本九さんの遺作ともいえるもので、愛する家族の為に歌った最後の曲で、人前で歌われることなく、愛する家族のためだけに歌われた永遠の名曲。この歌詞に込められていたのは、妻・由紀子さんとの永遠の愛、家族との永遠の絆だったのです。実際の坂本九さんの最後の歌声もみんなに聞いてもらいました。

義務教育を終えて、一人ひとりが大人としての第１歩を歩き始めるこの節目の時。あなたたちの家族はもちろん、これまでにお世話になった多くの人に、感謝の気持ちを込めて歌い上げてほしいと思います。

人は出会い、いずれは別れていく。自然の摂理なんて言いたくはありませんが、それは避けては通れないものなのかも知れません。だからこそ大切に思う人には、自分の気持ちを伝えておくことは悔いのない人生を生きる上で大事なのだ、と改めて感じます。人は誰もが明日のことなんて分からないものです。そう考えると、真剣に今を生きなくてはいけない。今と言う瞬間がもっともっと輝き出すのではないでしょうか。あなたは誰に、何を伝えたいですか・・・

心の瞳　（坂本九）

作詞：荒木とよひさ
作曲：三木たかし

心の瞳で　君を見つめれば
愛するこんなことだけが
どんなことだけが　君を見つめれば
愛するこんなことだけが
君遠言葉　わかりかけてきた
愛のすべて　言えない　胸の暖かさ
つもすべて　いまでは　人生だけど
そばで時の歩み　わかち合える

たとえ　あしたが　見えてきても
少しずつ　生きてきたとは
それは　足あとが　あるからさ

いつかは　若さを　心だけは
失くして　変らない
決しく　結ばれてる
絆で

夢のまた夢を　人は見てるけど
愛すること　永遠のものだから
いつの時代も　歩き疲れたら
長い年月を　手をさしのべて
微笑みかけて　合えたら
何深わり　時の重さ
愛いもの言わず　わかり合える

たとえ　過去を　懐しみ
それは　ふり向いても
人生は　歩いてたい
ある　だけさ

いつかは　若さを　心だけは
失くして　変らない
決しく　結ばれてる
絆で

愛するこんなことだけが　それがわかりかけてきた
愛のすべて　時の歩み
いつもそばで　わかち合える

心の瞳で　君を見つめれば……

受験生のみんなに贈る有名人の名言集 40　2019 年度公立高校後期選抜入試まで 138 日/卒業まで 83 日

“生きているということは、誰かに借りをつくること。生きてゆくということは、その借りを返してゆくこと”

✔CHECK坂本九の名曲「上を向いて歩こう」の詩を書いた永六輔の言葉。どんな人にも生まれてくる意味があるのですよ。生きていくことは、今までに世話になった人に感謝の気持ちを忘れないということなのだ。